

高取小だより

令和6年9月2日



三本桜

第16号

ふかく考える子 あたたかみのある子 がんばりのきく子
9月の目標：伝わるあいさつをしよう

再スタートです！

44日間の長い夏休みでした。例年と違って出校日がありませんでしたが、子どもたちにとって充実した満足のいく過ごし方ができたと信じています。何より大きな事件、事故等のトラブルもなく無事に元気に今日を迎えられたことを本当にうれしく思います。



夏休み中に学区内を歩くことがありましたが、暑さのせいか思ったよりも子どもたちの遊んでいる姿を見かけませんでした。保護者、地域の皆様には、夏休み中も温かく子どもたちを見守っていただいたことに感謝申し上げます。まだまだ厳しい残暑が続くと予想されますが、今後も高取小学校の子どもたちのためにご支援ご協力いただけますようお願いいたします。

危険な暑さが相次いだ7月の全国の平均気温は、7月としては気象庁が統計を取り始めてから126年間で最も高くなりました。平年と比べて2.16度高くなり、記録を更新するのは2023年に続いて2年連続です。立秋を過ぎても、猛暑日が続きました。ただ、昼の暑さや夜の寝苦しきはあるものの、朝や帰りの稗田川浴いでは爽やかな風を感じ、虫の音が響き、少しずつですが秋の気配が感じられます。

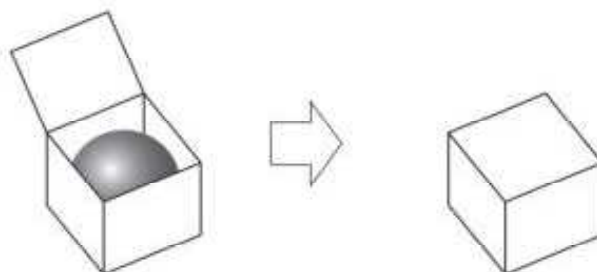


12月まで、たくさんの行事や活動を通して、それぞれの目標に向かって進んでいくこととなります。その達成に向けて、子どもたちとともにさまざまな活動に取り組んでいきます。しかし、目標の達成は簡単ではありません。確かな成果とするには、日常の取組で一つ一つ課題や困難を乗り越えながら、仲間と協力して地道に活動を積み上げ、日常で勝負できる本物の力を付けていく必要があります。そうして得られた力で目標達成という成果を勝ち取ることができれば、そこからは、何事にも替えられない感動と喜びを得ることができ、自らの大きな自信となるはずです。子どもたちと職員にご声援をお願いします。

全国学力学習状況調査（全国学力テスト）の結果から

4月に実施された全国学力学習状況調査（全国学力テスト）の各教科の平均正答率を文部科学省が分析しました。ここでは、算数の問題2問を取り上げます。

- ・直径22cmの球の形をしたボールがあります。このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。
ただし、紙の厚さは考えないものとし
ます。また、計算の答えを書く必要はあり
ません。



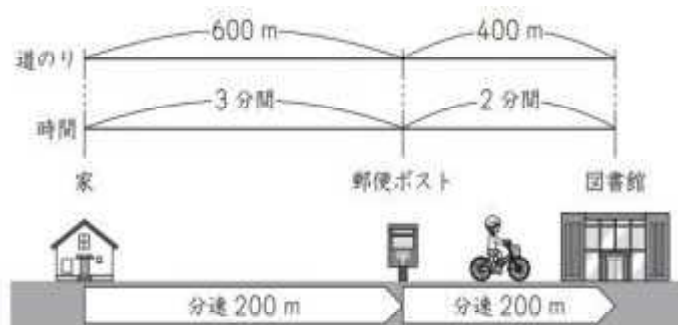
正答率が37%（高取小も37%）という問題
でした。3人に1人しか正解できなかったこ
とになります。

これは、球の直径の長さや立方体を構成する要素との関係や体積の単位について、深く理解できていないと思われます。身の回りの形から図形を捉え、図形を構成する要素を見だし、体積を求めるために必要な情報を判断できるようにする必要があります。

正答は「 $22 \times 22 \times 22$ 」、誤答例としては、「 22×22 」「 22×3.14 」「 $22 \times 22 \times 3.14$ 」「 22×6 」などがありました。

- ・たけるさんは自転車で、家から郵便ポストの前を通って図書館まで行きました。家から図書館まで、5分間かかりました。家から郵便ポストまでは、道のりは600mで、3分間かかり、速さは分速200mでした。郵便ポストから図書館までは、道のりは400mで、2分間かかり、速さは分速200mでした。家から図書館までの自転車の速さは、分速何mですか。答えを書きましょう。

正答率が54%（高取小は61%）と
いう問題でした。ほぼ半数の人が正
解できなかったことにはなりますが、
速さの意味や表し方についての理解
に課題があります。速さを単位時間
あたりに移動する長さとして捉え、



問題場面に戻ったときに、その速さが妥当かどうか判断できる力が求められています。

正答は、「分速200m」、誤答例としては、「分速400m」（24%）「分速1000m」（3%）などがありました。

これらの問題の正答率と児童質問調査「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」の各選択肢「当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない」をクロス集計した結果、この質問に否定的に回答したグループの方が、本問の正答率が低く、無解答率も高くなりました。

これを踏まえ、日常生活場面を取り入れた授業づくりにより、算数を「生活の中で使ってみよう」という意欲の向上と使用場面のより強い意識付けを図っていきたいと思います。